

# PRESS RELEASE

2025年2月28日

## 長谷工コーポレーションと燈が新システムを構築 国内で初めて長谷工版 BIM と生成 AI 技術を融合 ～建設現場で必要な設計情報をチャット形式で瞬時に取得可能～

株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫、以下「当社」）は燈株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役 CEO：野呂 侑希、以下「燈」）と共同で、長谷工版 BIM<sup>※1</sup>と燈の持つ生成 AI（大規模言語モデルシステム）技術を組み合わせた新たなシステム（以下「本システム」）を構築しました。本システムにより建設現場での設計図書確認が更に効率化します。建設現場での活用を目的に BIM データと生成 AI 技術を組み合わせたシステムの開発は国内初<sup>※2</sup>となります。

当社は、マンションの施工累計戸数 71 万戸を超える<sup>※3</sup>実績と、高い設計施工比率<sup>※4</sup>を活かした「長谷工版 BIM」を構築し、2020 年度には設計段階、2021 年度には施工段階での導入体制を確立しました。一方、建設現場の所員が設計図書を読み込み、技術情報を正解に把握するためには習熟が必要で時間を要しています。本システムは、長谷工版 BIM と燈が有する生成 AI 技術を組み合わせることで、チャット形式の質問により長谷工版 BIM 内の設計図書データから瞬時に必要な情報を検索・取得できます。これにより、建設現場での設計図書確認の効率化を実現します。昨年よりプロトタイプの試験運用を行い、想定通りの運用が可能なことを確認しております。

当社では、現中期経営計画（NS 計画）の重点戦略において、将来に向けた取り組みとして DX の具現化を進めております。引き続きマンション事業全体で DX を活用した効率化による生産性の向上と働き方改革を実現してまいります。

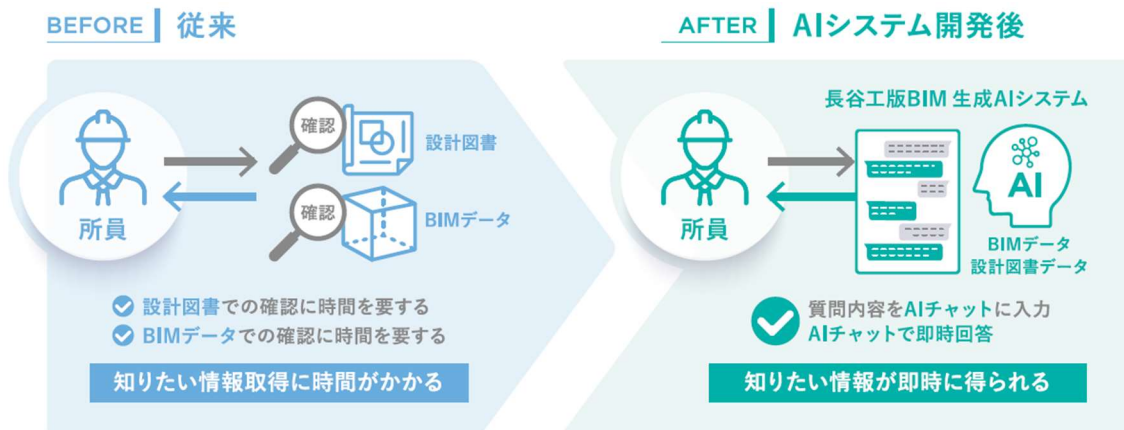
※1…長谷工独自のマンションに特化した 3 次元建物モデル（BIM：Building Information Modeling）

※2…燈社調べ

※3…2024 年 12 月末現在 71 万 5,800 戸 長谷工総合研究所調べ

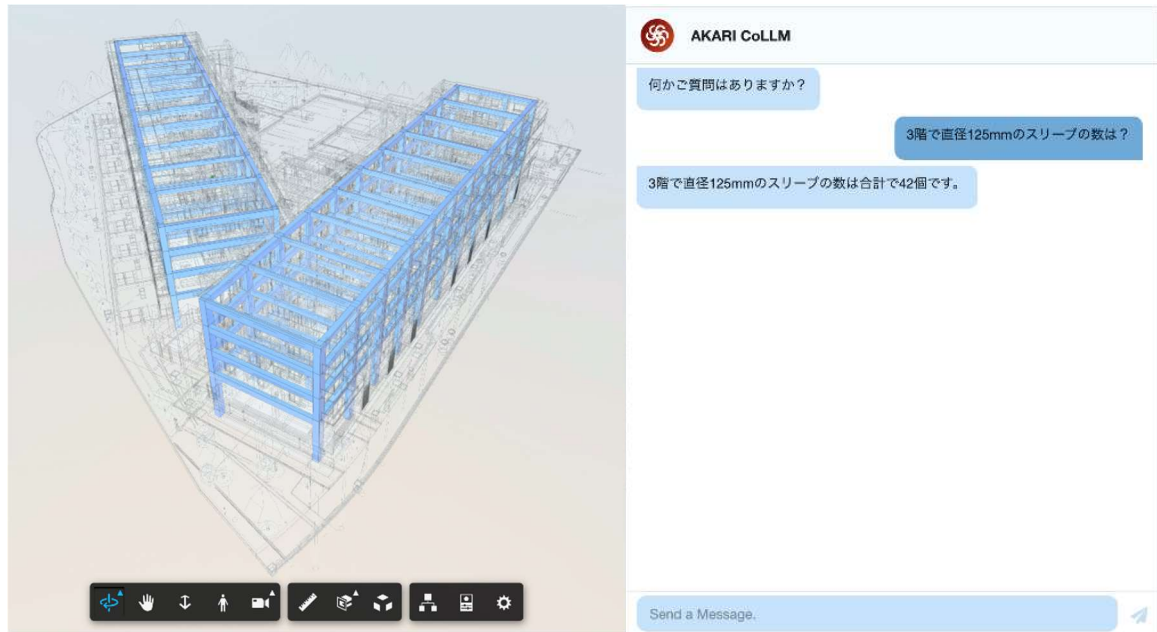
※4…2023 年 4 月～2024 年 3 月期実績 96.8%

### 【本システム活用概念図】



### 【本システムの操作画面イメージ】

本システムを使用する際は、PC 画面の左に長谷工 BIM を活用した三次元設計モデルが表示され、右のようにチャット形式で質問をすると、瞬時に回答を得ることができます。



### 【会社概要】

会社名	燈株式会社/AKARI Inc.
代表者取締役社長	野呂 侑希
本社	東京都文京区小石川一丁目 28 番 1 号 小石川桜ビル 4 階
事業内容	企業の DX 推進の支援、SaaS プロダクトの提供
従業員数	250 名 (2025 年 2 月現在)
URL	<a href="https://akariinc.co.jp/">https://akariinc.co.jp/</a>